

# ICT活用による草地生産性の向上 (石狩農業改良普及センター)

## 背景

### 【石狩農業改良普及センター管内 (JA道央管内) の概要】

- 4市の畜産農家は111戸で、草地面積は5,046ha
- 後継者不足により、農家戸数は減少し、経営面積の拡大が進んでいる

### 【地域の課題】

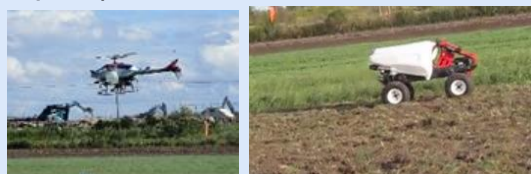
- 草地更新作業は8.7時間/ha程度を要し、家族労働が主である当地域では更新作業面積に限りがあるため、スマート農業を取り入れた効率的な草地更新技術が求められている
- スマート農業に興味はもっているが、実際のICTに触れる機会が限られている

## 普及活動内容

- ICTを活用したピンポイント草地更新  
 <ドローン画像解析による雑草(ギシギシ)検出>



- <自動ラジコンヘリによるピンポイント除草剤散布及び農業用自動走行ロボットによる牧草は種>



- ICTの普及  
 → 実演会の開催  
 → ICTベンダーと農業者のマッチング  
 → 効果の検証



## 普及の成果

### 【具体的な成果】

- 資材費は88%減少

	散布時間 (10 a)	薬剤量 (ほ場当)	薬剤費 (ほ場当)
ICT活用	6.9分	5.6g	1,406円
慣行	1.2分	45.4g	11,532円
慣行比	575%	12.3%	12.2%

薬剤量及び薬剤費の低減効果は高かった。  
(散布時間の低減が課題)

- 雑草(ギシギシ)の減少  
10% → 1%



### 【成果のポイント】

- 草地管理に力を入れている農業者の理解の下、収穫体系にICT実演を組み込むことができた
- ICTベンダーとの打合せや連絡調整をWEB会議等を有効活用し密に行えた